

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	東海	(2)記載者氏名:	堀 文昭	会員番号:	13301	事務局整理記入欄	東海 - 4
分水嶺区分	W019境峠～W020椽洞	(3)山行日:	2004年	3月	16日	(4)天候	快晴 積雪1m

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

辻 章行	10193						
志賀 博	13273						
堀 文昭	13301						
平野 重夫	非会員						
計				4名			
計				名			

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	地形図上に山名ひとつなく、情報も皆無の空白地域、(5.6km)												
アプローチ:	多治見～中津川IC～藪原～境峠(往復)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特 記
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	境峠	寄合渡						1,486.0		6:15			
分水嶺到達点W019	同上	"									B-4		
	三村境	"						1,870.0	8:30	8:40	B-4		
W020	椽洞	"	137	40	52	36	0	42	2,033.0	10:45	11:25	B-4	
	(往路を戻る)		(日本測地系)										
分水嶺離別点													
歩行終了点	境峠								14:40				
										総歩行時間(休憩時間を除く):		7時間	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W020	椽洞	2	不明	不明	積雪下、確認できず

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

昔カヌミ網を張ったと思われる針金などの残骸が放置されていた。いずれ朽ち果てるだろう。 他に人工物は一切ない。

(9)水および植生に関連した特記事項

境峠近くにはカラマツやヒノキが見られるが、その先はダケカンバ、シラビソ、ツガなどの原生林が幅広い稜線に広がり、人跡稀な素晴らしい景観が展開する。

(10)その他の特記事項

ローマ字で「日本縦断分水嶺歩き、京都ミサヤマAC」と刻印した古びた小さな金属プレートが樹木の低い位置に打ち付けてあった。 無雪期にここを踏破したパーティがいることを示している。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 奈川、開田、木祖の三村境界付近の原生林

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

--

